広島新世代RC認証状伝達式報告

国際ロータリー第2710地区 2025-26年度 広島新世代RC 会長
諏訪 昭浩

去る11月21日、広島新世代RCの認証状伝達式ならびに祝賀会を、例会会場である広島市中区のおりづるタワー5階 Future Presentation Room にて開催しました。

当地区からは、土肥ガバナーはじめ、諏訪、大之木、脇、井内、上田パストガバナー、脇ガバナーエレクト、小根森ガバナーノミニーにご参加いただき、また、他地区からは、RID2580嶋村パストガバナー、RID2690金谷ガバナーエレクトにも駆けつけていただきました。これらのご来賓を含め、アメリカを含め北は北海道、南は沖縄まで、国内外の12地区42クラブ、76名の方々にご参加いただき、まさにロータリーの友愛を大変うれしく感じる賑やかな会になりました。

認証状伝達式では、会場に設置された国内最大級の12Kスクリーンを駆使した当クラブのオープニング動画に続き、新クラブのアドバイザーである土肥ガバナーから認証状をいただき、土肥ガバナーの設立における多大な貢献に対して感謝状を差し上げました。続いて、大之木パストガバナー、嶋村パストガバナーにご祝辞をいただきました。

土肥ガバナーには、最初にご相談申し上げてからこれまでの設立経緯を明確に述べていただきました。シニアリーダーとしての会員増強に対するお覚悟を感じる大之木パストガバナーのご祝辞では、「独善ではなく孤立でもなく、ロータリーの友愛を生かした光明となって当地区の行く手をあかあかと照らす存在になることを願う」という、心引き締まるお言葉をいただきました。設立のきっかけとなったと言っても過言ではない嶋村パストガバナーからは、私と酒を酌み交わした過去、「人を育てる」という発想に共感したという、ご支援いただいた方々を代表するかのような温かいお言葉をいただきました。

祝賀会では、2年前から新クラブ設立に関して相談に乗っていただいている井内パストガバナーの、「ロータリーに一石を投じてほしい」という乾杯のご発声に続き、広島出身のミュージシャンで柳ジョージとレイニーウッドで活躍された上綱克彦さんに演奏を披露していただきました。

当クラブはスポンサークラブを持たず、固定事務所や例会での飲食を省いて固定費を最小化し、会費を低く押さえました。五大奉仕全てにまんべんなく取り組むのではなく、まずは人を育てるための「クラブ奉仕」を基本に、1932年の手続要覧に明記されているように、ロータリアンが自己研鑽によって良い人間、良い職業人になろうとする義務を果たすことを前提に、それをクラブが最大限サポートするというクラブの義務を果たすという、近年伝達されにくくなったロータリーの根幹を成す思想を実現できればと思っています。そして、その時代の問題解決の主役となるべき新世代を育てる「青少年奉仕」と、広島に縁があるクラブとして平和貢献活動を特に重視して参ります。

こうした新しい試みは、決してこれまでのやり方や考え方を否定するものではなく、会員減少が止まらないロータリーにおいて、新しいことも試してみようではないか、というだけのことです。ロータリーでは仲間同士の友愛が大切であり、設立にあたってはこのことを最も重視してきましたので、これまで所属していたクラブにご迷惑をかけてはならないという配慮から、事前に十分な説明を試み、いわゆる会員の引き抜きは一切いたしませんでした。しかし、設立方法が多くの前例と異なることもあり一部誤解が生じたせいで信じがたい逆風が吹き、一時はロータリーの友愛の存在を疑いたくなるような非常に辛い経験もいたしましたが、これは私の不徳のいたすところであると大いに反省しております。

どうか、広島新世代ロータリークラブとその会員を、ロータリーの仲間として温かく迎えていただきますよう、創立会長として心からお願い申し上げます。